

つけてあげれば、ボスになるような子達は持っている創造性を重んに發揮してくれる。「ボスは学級を發展させる」とつくづく感じさせられたのである。
(大会発表論文抄録58―60頁)

社会性とその指導

(その一 社会的成熟度と保育上の問題点)

名古屋 保育短期大学 成田 錠一
名古屋市立上名古屋保育園 石田 妙子
名古屋保育短期大学付属保育園 師橋 瑛子

研究の最終目標として、具体的な指導という点をふまえた上で、幼児の成熟のレベルと民主社会にマッチした指導目標の設定を意図し、我々は最初に、既に提示されている指導目標並びに保育者の現実に抱いている目標のイメージ、生活場面ごとに望ましい指導目標等の検討を試みた。その方法として、(a)幼児の年齢に応じた社会的発達の多面的なレディネス指標を、K式改訂ヴァインランド社会的成熟度によって得点化した。そしてその結果から段階別の三つのグループを作った。つまり上の段階Ⅱ最高点から五名、中の段階Ⅱ平均点前後の者五名、下の段階Ⅱ最低点から五名である。次に(b)具体的指導目標への到達程度を知るために、まず幼児の保育所における生活場面から、自由遊び、集会的場面、共同遊びの三場面を選び、その場面ごとに、ふさわしい、望ましい行動目標を作りあげ、目標ごとに尺度化し三段評価を行ない得点化した。この際成熟度の度合い(上、中、下の段階)と関連させて行なった。(なお対象児は五、六才児七〇名)その結果は大会発表論文抄録40頁を参照された

い。

主なる問題点は、①成熟度上の段階の子どもは全体的にみて、各目標への到達度が低いことで、この事から指導上並びに目標検討の上に多くの問題点をもつ(自由遊びの場面の(3)、(6)のように)。
②成熟度の中及び下の段階は、それなりに指導内容上の問題をはらむ、という点である。
(大会発表論文抄録40―41頁)

幼児の行動の全体事態的分析に

ついでの一考察

(集団機能および役割の分化を中心とした実践的研究法により)

四日市市教育研究所 神 沢 良 輔

ここに報告するものは、四日市市の数園の幼稚園の一昨年度共同研究である。

一 目的 実際の指導の場で、幼児の行動を理解しながら、教育的な実践をどのように進めたらよいか、ということについての、一つの方法をみつけたそうとするものである。

こどもたちの行動を理解するために、幼児の行動に変容をもたらした条件を明らかにしながら、実践を進めるといふ方法をとった。行動の変容をもたらす条件については、個体的条件と、環境的条件とに大きくわけて考えた。個体的条件の中には、(1) 動機づけ、(2) 興味、(3) 誘惹性、(4) 能力、(5) 構え、(6) 性格、(7) 身体的条件、(8) 情緒的条件、(9) レディネスなどが考えられ、環境的条件については、教師や友人との関係を中心とする人間的環境と、